週間国際経済2017（24）　№109　　０７／１７～０７／２７

07/17・米中包括対話、「100日計画」を公表　米、中国に鉄鋼で圧力も
　　対北朝鮮で溝　経済も視界不良

07/18・中国、6.9%成長で横ばい（4-6月）消費・インフラ投資拡大　＜１＞
　　ネット通販市場盛況　不動産投資は減速
　・米通商代表部（USTR）NAFTA再交渉目標、為替も協議

07/19・20年度の基礎的財政収支、高成長でも8.2兆円赤字と内閣府
　　試算、実質2%以上、名目3%以上という現実離れの前提

07/20・日銀、物価２％19年度に先送り（6回目）　緩和策は維持　＜２＞
　・米中経済対話、物別れ　記者会見も中止
　・韓国文政権5カ年計画　南北対話鮮明に「20年核放棄」へ工程表
　・中印「一帯一路」巡り摩擦　国境ドクラム高原で1カ月にらみ合い
　・オバマケア廃止で無保険者来年1700万人、26年に3200万人増（予算局試算）

07/21・欧州、緩和縮小「秋に議論」中銀総裁、年明け実施視野　＜３＞
　・EU離脱第2回交渉（ブリュッセル20日）英の「清算金」溝埋まらず

07/22・トヨタ、中国でEV量産　環境規制に対応し19年にも、SUV検討

07/24・IMF、米2.1%成長に下方修正　財政政策を疑問視

07/25・中国の粗鋼生産最高に　１～6月　鉄余りを市場警戒　＜４＞
　・IMF本部、北京に移転？　ラガルド専務理事「10年後、可能性ある」

07/26・英もガソリン車販売禁止　40年までに、仏に追随　英メディア一斉報道
　・米下院、対ロ制裁強化法案可決　大統領権限を制限
　・韓国LG、有機EL中国生産　中韓で1兆円投資　外資が先端拠点相次ぐ

07/27・米の資産縮小9月視野　FRB、追加利上げは見送り　緩和出口へ最終段階＜５＞
　FOMC声明で「比較的早期に開始」明示　物価に配慮し利上げは慎重
　・オバマケア廃止法案否決　2回目　米上院、共和党の7人造反
　・英景気、低空飛行続く　GDP0.3%増（4-6月）　EU離脱影響　＜６＞
　　ポンド安で物価上昇　賃金の伸び追いつかず
　・「THAAD」報復長期化　中国、韓国企業にダメージ
　　現代自販売4割減　ロッテスーパー8割休業　対中輸出は影響なし、半導体大幅増で12%増

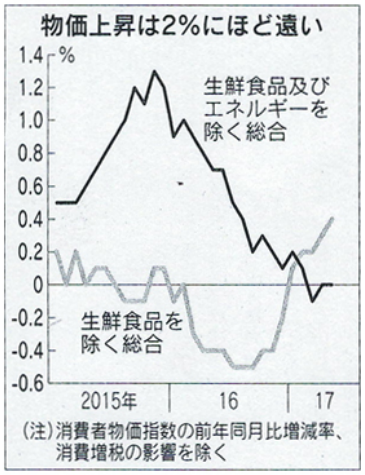
＜1＞

1～6月の中国経済は消費とインフラ投資が支え

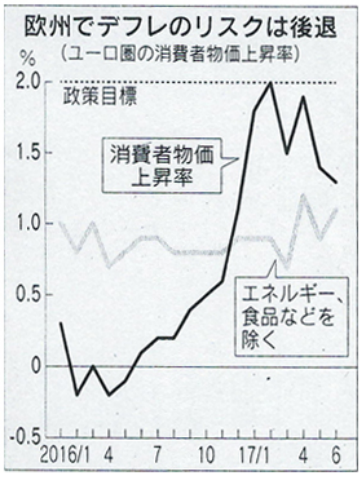
1～3月			1～6月	
実質成長率	6.9	➡	6.9	6.5%の通年目標は達成公算
消　費	10	↗	10.4	ネット販売が33%増と拡大続く
生　産	6.8	➡	6.9	半導体のほか鉄鋼や石炭も好調
固定資産投資	9.2	↘	8.6	インフラ投資が21%増とけん引、不動産投資や民間投資は減速
不動産販売	19.5	↘	16.1	金融規制強化で北京・上海など減少、地方都市は好調

(注)前年同期比増減率%、1～6月の実質成長率は4～6月の値

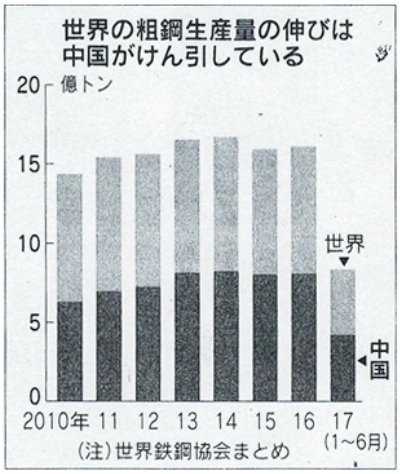
＜2＞



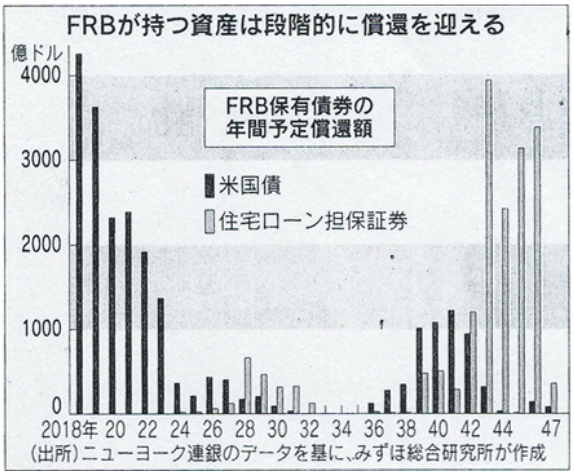
＜3＞



＜4＞



＜5＞



＜6＞